



## 立ち止まって、周りを見よう！

人は、目で物を見ます。物を見る力を視力といいます。目を開ければ、机や椅子や友達顔などさまざまなものが目に映ります。前に立っている人の顔を見ればそれが誰だかわかります。目は、正確に見た物の形や色を脳に伝えます。私たちは、人の顔を見て、その人が誰だかを判断することができます。しかし、目は人の姿を正確に脳に映しますが、人の心まで映すことはできません。友達の姿を目でとらえることはできますが、友達がどんな気持ちでいるのか、どんなことを思っているのかは映し出すことはできません。

私たちは、心の目で人の心を感じることが出来ます。「今、彼女は、嫌な気持ちになってるな」とか「今、彼は、つらい気持ちになっているな」など心の目を開けば感じ取ることが出来ます。

朝読書の時間は教室が静かな空間に包まれています。みんな集中して自分の好きな本を読んでいます。私語もなく、静粛な時間が過ぎていきます。本の世界に入り込んで文字を追っています。このような時間に、誰かが「雨降ってきたよ」「ほんとだ、傘持ってないよどうしよう！」など私語をはじめたら、本を読んでいる人は一瞬にして、読書の世界から現実の世界に引き戻されて、不快な思いをします。

「〇〇さん、私語をやめてください。読書に集中できなく不快です。」と周りの人が注意すれば、みんなに迷惑かけているなと自覚するでしょうが、不快な気持ちを言葉に出さずにみんなが我慢して読書を続けたら、嫌な気落ちになっていることをその人は察知することはできないでしょう。

人は、常に心の目で周りを見ることを意識しないとイケません。意識しないと目の前でつらい思いをしている人や嫌な気持ちをしている人の心を感じることができません。

あなたは、心の目を開いて周りを見ることができていますか？ちょっと立ち止まって自分を振り返ってみてください。……。

」

。 n 天勝てんだったり

来週は第二回テストがあります。テストが終わると直ぐに、前期の成績をつけます。夏休み前の三者面談では、4月から7月までの中で5教科は評価を出しましたが、技能教科は評価資料が少なく評価を出すことができませんでした。10月6日に渡す通知表では3年生の市評定法が少なく」技能強化の第一回のテスト前期の成績は技能供養かも